



--令和4年7月8日(金)--

ネットワーク拡大に！

親子バスツアーを開催



この日、栄東地区まちづくり未来会議が主催する親子バスツアーが開催されました。栄東地区では、民生委員が中心となって運営する子育てサロンが2つあり、今年は、ひのまる公園で「あおぞらちびっ子らんど」も開催し、徐々に参加者が増えています。これらのサロンに集まる親子が交流する機会とそのネットワークを広げようと、今回のバスツアーを企画しました。

画しました。

行き先は、恵庭市の「はなふる」です。恵庭市は、花のまちとして有名ですが、道と川の駅と農畜産物直売所などを併設した花の拠点があります。

早速、参加者の親子の皆さんは、色とりどりの花々に囲まれたガーデンや、子どもたちが安心して遊べる屋外遊具、新鮮な野菜や特産品が買える直売所など広い園内をゆっくりと巡り、親子共々、恵庭の魅力を堪能していました。従事したボランティアの皆さんにとっても、美しい花と元気いっぱいの子どもの笑顔が、今後の活動の糧になったようです。



▲お花が咲き誇る広い園内で、散策や食事を楽しむ親子

--令和4年7月11日(月)--

バスツアーで絆づくり

連町女性部研修会

この日、地区内の単位町内会の女性部が対象の女性部研修会が行われ、24名の方が参加しました。この研修会は、女性部同士が道内にある施設の見学や体験を通して、交流を深めることを目的に栄東連合町内会女性部が毎年企画しているものです。

今年は、栗山町の「小林酒造」と由仁町の「ゆにガーデン」を訪ねました。まず、栗山町では、明治11年創業の歴史的な酒蔵を見学し、ガイドの説明を聞きながら酒造りの工程を学びました。次に「ゆにガーデン」では、美しく咲き誇る花々を見ながら、14ヘクタールもある広大な庭園を散策し、心地よい汗を流しました。

続けてお昼には、園内のレストランでランチバイキングを楽しみながら、日頃の町内会活動などの情報交換に花を咲かせました。新型コロナ禍にあって、なかなか町内会同士の意見交換などが行いにくい環境にあります。感染防止に努めながら、こうした気軽な交流があることで、参加者の絆を深め、きっと今後の地域活動の活性化に繋がっていくことでしょう。



--令和4年7月13日(水)--

乳幼児向けに変身！

ひのまるちびっ子なつまつり復活

新型コロナ禍で2年連続中止した「ひのまるちびっ子なつまつり」ですが、運営の中心になっている栄東地区民生委員・児童委員の悲願が実り復活を遂げました。

オープニングでは、シャボン玉が次々と空に舞い上がり、子どもたちの歓声が響き渡りました。ひのまる公園内を、セーフティコーンで区画し、中が密にならないよう感染予防を徹底しました。



▲民生委員・児童委員、青少年育成委員、青パト隊、町内会の皆さんなど多くの方々のご協力のおかげでイベントは大盛況



▲子どもたちを優しくサポートするボランティアの方々

一番人気はバルーンアートで、犬や花、剣に形作られたバルーンに子どもたちは大喜びです。このほか、金魚釣り、ヨーヨーコーナー、的あてにちえりあ劇場(紙芝居)など楽しい遊びが盛りだくさんでした。

従来の規模での開催は叶いませんでしたが、小規模ながらも、運営者の創意工夫で復活させたものです。お子さんは130人余り、保護者と従事者を合わせると合計257人が参加しました。

当日従事した皆さんは、無邪気な子どもたちの笑顔に癒され、子どもの健やかな成長を願う栄東地区ならではのイベントの復活を喜びました。

--令和4年7月15日(金)--

第19回パークゴルフ大会

3年ぶりにつどーむで開催



▲豪華景品(!?)獲得を目指し、闘志を燃やす参加者たち

この日、つどーむパークゴルフ場で3年ぶりとなるパークゴルフ大会が開催されました。参加者45名は、待ちに待った大会の再開に、豪華景品(!?)獲得を目指して心地よい汗を流しました。

この大会は、毎年実施しており、今回は19回目にあたる栄東連合町内会の定番行事です。当日は好天に恵まれ、菊地裕嗣・連町会長より開会挨拶の後、各グループがショットガン方式で1番～15番ホールから一斉にスタートしました。競技は、36ホールストロークプレー(全ホールの合計スコアで勝敗を競う方式)で行い、栄新和町内会の佐藤恵さん(男性の部:スコア89)と、新生町内会の倉田幸子さん(女性の部:スコア103)が見事優勝されました。そのほか、ブービー賞やラッキー賞も用意され、和気あいあいと参加者同士の親睦を深めることができました。

